

政策評価トピックス 第 65 号(2006 年 3 月 15 日)

・宮城県：行政活動の評価結果の反映状況

宮城県では、17 年度に実施した行政活動の評価結果を 18 年度の当初予算編成等に反映させた状況を取りまとめました。

例えば、政策名「消費者ニーズに即した産業活動の展開」をみると、第 4 回県民満足度調査結果は、重視度：79，満足度：60，重視度と満足度の乖離：19（中程度），政策評価結果：適切，とされています。同政策の中にある七つの施策の一つである「野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上」は，達成度：A，施策評価：適切，方向性：拡大，とされています。評価結果の反映状況として，「みやぎのおいしい「食」ブランド化戦略推進事業」（1,000 千円），「みやぎの野菜ブランド化推進事業」（3,106 千円）などが新規の重点事業になっています。

<http://www.pref.miyagi.jp/hyoka/17kasho/hanneisho/H17haneikagami.htm>

・長野県：事務事業評価の 18 年度当初予算への反映

長野県では、17 年度の事務事業評価結果（17 年 9 月）を 18 年度当初予算案に反映させた結果を公表しました。当初予算に反映させた事務事業は 389 で，そのうち，農政部関係は 43 事業となっています。例えば，「信州農業再生戦略プロジェクト事業」の政策評価課による二次評価は，「県内の主要野菜生産地域での実証事業であり，有効性，効率性は認められる。今後，実証の効果を高め，普及につなげるためには，農薬・化学肥料を削減した栽培技術の早期確立が求められる」とし，総合判定は B とされました。これを受けて 18 年度当初予算額は 5,633 万円（前年度 5,094 万円）とされています。

<http://www.pref.nagano.jp/kikaku/hyouka/index.htm>

・福井県：予算編成過程への県民参加の結果

福井県では、本年 1 月に標記について県民の意見求めていましたが，このほど，その結果を明らかにしました。寄せられた意見は 109 件で，意見の結果を受けて，「コシヒカリ育成 50 周年記念事業」と「生涯を通じた口腔の健康増進事業」がそれぞれ 50 万円増額されました。出された意見は，例えば，農林水産部と教育庁所管の「元気いきいき福井をつくる食育推進事業」（予算計上額 850 万円）に対する主な意見として「最近の子供に欠けているのは，食べ物に対する感謝の念である。食材の命を活かしきり，食事を残さぬように心掛ける習慣を身につけさせるためには，まずは，幼時からのしつけや教育によって，食べ物への感謝の心を育てることが必要である」（要旨）。これに対して，知事からのコメントとして，栄養教諭 10 名を配置したこと，保育所，公民館等を核とした食育モデルを育成する市町村を拡大する予定などが記載されています。

<http://info.pref.fukui.jp/seiki/kenminsanka.kekka.18tousyo.html>

・山口県：アクティブ 21 の推進

山口県では、平成 17 年度から「アクティブ 21」を実施し，既に県が持っている人材，施設，情報，ノウハウの活用や，県民，団体との連携・協働といった新たな予算措置を伴わない取組によって施策目的の実現を図ろうとする取組を実施していますが，このほど，18 年度に実施する取組を明らかにしました。農林水産関係の新規の取組としては，暮らしを支える鳥獣被害防止の環境づくり（農政課），小・中学生の農業・農村の役割等への理解促進（農村整備課），小・中学生の水産に対する理解促進（水産研究

センター），豊かな海・川づくり意識の高揚（水産研究センター），農林行政の取組紹介による理解と参加の促進（農政課。岩国短期大学との連携）があげられています。

<http://www.pref.yamaguchi.jp/gyosei/seisaku/active21/active21.htm>